

---

炭素市場エクスプレス メールマガジン 第 137 号 (2024 年 7 月 26 日発行)

---

こんにちは、炭素市場エクスプレス事務局です。

本メールマガジンは、炭素市場に関する最新の動向や国内外のイベント情報等についての情報を毎月 2 回程度配信しています。下記リンクもあわせてご覧ください。

ホームページ <https://www.carbon-markets.go.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/jcm.oecc/>

二国間クレジット制度 (JCM) <https://www.carbon-markets.go.jp/jcm/index.html>

◇トピックス

---

◆ 1. 事務局からのお知らせ

[1] 「コラム」に新しい記事をアップしました。

SB60 サイドイベント傍聴：6 条 2 項の下での協力的アプローチ：参加国への裨益 (2024 年 6 月 3 日)

[2] JCM 提案方法論 (カンボジア) 「Introduction of High Efficiency Firewood Cookstove to Replace Traditional Cookstove」及び「Introduction of Low Greenhouse gas-emitting safe drinking water production systems」へのパブリック・コメント (2024 年 7 月 20 日～2024 年 8 月 3 日) を開始しました

[3] 環境十全性の高い炭素市場を活用した強化された気候行動：パリ協定実施のためのプラクティカム (国連大学)

◆ 2. 政府機関の報道発表

[1] 令和 6 年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務 3 次公募について (環境省)

[2] 第 3 回 GX 実現に向けた排出量取引制度の検討に資する法的課題研究会の開催について (環境省)

[3] 国際連合工業開発機関におけるアフリカ JCM パートナー国を対象とした二国間クレジット制度 (JCM) に基づく脱炭素プロジェクト形成支援の公募について (環境省)

◆ 3. イベントのお知らせ

[1] 【JPRSI セミナー開催案内 (7/31 Wed 11:00-)】JCM の最新動向について (OECC)

◆ 1. 事務局からのお知らせ

---

[1] 「コラム」に新しい記事をアップしました。

SB60 サイドイベント傍聴：6 条 2 項の下での協力的アプローチ：参加国への裨益 (2024 年 6 月 3

日)

日時：2024年6月3日（月）

主催：チュニジア政府、KliK 財団

本イベントは、パリ協定 6 条 2 項に基づく取組を行うスイスの NDC 達成のため、スイス CO2 法に基づいて運営され、ITMOs 調達等の役割を担う KliK 財団、同取組のパートナー国であるチュニジア政府との共催によって開催された。各セッションでは、チュニジア政府による同国の気候目標に基づく 6 条取組、同じくスイスの 6 条取組におけるパートナー国ガーナの 6 条取組のための国内努力、オランダに本拠を置く ACT Group によるガーナにおけるスイスとの 6 条協力枠組みに基づく取組、KliK 財団およびスイス政府より、これまでの活動と今後の活動見通しについて発表が行われた。また、同イベント参加者による 6 条活動の透明性や資金調達に関する質問について、登壇者による回答が行われた。

【傍聴報告】

⇒ [http://carbon-markets.env.go.jp/wp-content/uploads/2024/07/20240603\\_SB60\\_memo\\_OECC.pdf](http://carbon-markets.env.go.jp/wp-content/uploads/2024/07/20240603_SB60_memo_OECC.pdf)

[2] JCM 提案方法論（カンボジア）「Introduction of High Efficiency Firewood Cookstove to Replace Traditional Cookstove」及び「Introduction of Low Greenhouse gas-emitting safe drinking water production systems」へのパブリック・コメント（2024年7月20日～2024年8月3日）を開始しました

【詳細】

⇒ <https://www.jcm.go.jp/kh-jp/information/514>

【カンボジアにおける最近の動向】

⇒ <http://carbon-markets.env.go.jp/jcm/initiatives/cambodia.html>

[3] 環境十全性の高い炭素市場を活用した強化された気候行動：パリ協定実施のためのプラクティカム（国連大学）

【詳細】

⇒ <https://ias.unu.edu/jp/admissions/credited-courses/enhanced-climate-action-through-high-integrity-carbon-markets.html#overview>

◆ 2. 政府機関の報道発表

[1] 令和 6 年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務 3 次公募について（環境省）

世界全体の温室効果ガスの排出削減に向け、開発途上国の都市の脱炭素化の更なる促進に協力するため、令和6年7月16日（火）から同年8月6日（火）まで、「令和6年度脱炭素社会実現のための都市間連携事業委託業務」の3次公募を行います。

#### 【公募概要】

- ・ 対象国：開発途上国とし、JCM パートナー国及び候補国（インド共和国、ブラジル連邦共和国等）を優先国とする。
- ・ 対象分野：様々なセクターにおける省エネルギー、再生可能エネルギー、水素等の脱炭素技術等（エネルギー起源二酸化炭素排出削減に資するものであり、かつ、脱炭素社会形成を促進する事業）とし、各分野における設備導入等を促進するための制度構築支援を含む。
- ・ 事業費：全地域一律（上限）：1,000 万円/年（税込）
  - ※ JCM の申請にあたり、環境アセスメントや風況調査等の現地調査が必要な業務については、最大 500 万の増額を認める場合がある。
- ・ 事業期間：最長3か年（ただし契約は単年度）

#### 【報道発表】

⇒ [https://www.env.go.jp/press/press\\_03462.html](https://www.env.go.jp/press/press_03462.html)

[2] 第3回 GX 実現に向けた排出量取引制度の検討に資する法的課題研究会の開催について（環境省）

1. 環境省は、令和6年7月22日（月）に経済産業省と共同で、第3回 GX 実現に向けた排出量取引制度の検討に資する法的課題研究会を、オンライン会議形式にて開催します。
2. 研究会では、2026年度より本格稼働が予定される排出量取引制度の具体的な設計の前提として様々な国・地域での排出量取引制度を我が国の法体系に当てはめた場合の法的論点を抽出し、学術的・実務的な観点からの考え方を整理します。

#### 【概要】

開催日時：令和6年7月22日（月）13:00～15:00

形式：オンライン会議（YouTube でのライブ配信）

#### 【報道発表】

⇒ [https://www.env.go.jp/press/press\\_03468.html](https://www.env.go.jp/press/press_03468.html)

[3] 国際連合工業開発機関におけるアフリカ JCM パートナー国を対象とした二国間クレジット制度（JCM）に基づく脱炭素プロジェクト形成支援の公募について（環境省）

1. 日本国環境省からの拠出金により、国際連合工業開発機関（UNIDO）は、2022 年度からアフリカにおける二国間クレジット制度（JCM）のパートナー国において優れた脱炭素技術等を活用して温室効果ガスを削減するとともに、日本の貢献に応じて JCM クレジットの獲得を目指す JCM プロジェクトの形成支援を行っています。
2. この度、2024 年 7 月 18 日（現地時間）より、UNIDO が 2024 年の JCM プロジェクト形成支援対象事業の公募を開始しましたので、お知らせします。

#### 【公募概要】

- ・対象国：アフリカ JCM パートナー国（ケニア共和国、エチオピア連邦民主共和国、チュニジア共和国、セネガル共和国）
- ・対象者：日本企業（申請者及び国際コンソーシアムの代表事業者）を含む現地企業等との国際コンソーシアム
- ・事業内容：優れた脱炭素技術を活用した化石燃料由来の温室効果ガス排出削減プロジェクトの追加コストの負担軽減のため、UNIDO からのグラントを提供します。採択された国際コンソーシアムには、温室効果ガス排出削減プロジェクトの実施及び一定期間における GHG 排出量削減の測定・報告・検証（MRV）等を含むアフリカの JCM パートナー国との合同委員会における JCM クレジット発行に向けた各取組を実施していただきます。
- ・グラントの主な内容
  - プロジェクト 1 件あたり最大 USD 800,000
  - 補助率は対象事業費の最大 75%
  - 原則として 2025 年内のプロジェクト完工
  - その他費用対効果、モニタリング期間等への対応が必要
  - 日本政府の各 JCM 補助事業への同時応募は可であるが、双方を受け取ることは不可
- ・公募実施期間：2024 年 7 月 18 日から同年 9 月 13 日まで（現地時間）

#### 【詳細】

⇒ <https://www.unido.org/get-involved-procurement/procurement-opportunities>

#### 【報道発表】

⇒ [https://www.env.go.jp/press/press\\_03478.html](https://www.env.go.jp/press/press_03478.html)

#### ◆ 3. イベントのお知らせ

[1] 【JPRSI セミナー開催案内（7/31 Wed 11:00-）】JCM の最新動向について（OECC）

【概要】2024 年 7 月 31 日（水）11：00 より、2024 年度第 2 回 JPRSI セミナー「JCM の最新動向」を開催いたします。JCM が始まってから 10 年以上が経過し、パートナー国も拡大している中で、現在の JCM 制度を取り巻く最新の状況・動向について環境省よりお話をいただきます。

開催日時：2024 年 7 月 31 日（水）11:00～12:00

形式： オンライン開催（Zoom）

【申し込み】

⇒ <https://forms.office.com/r/vX9h9svPWG>

※参加登録には JPRSI 会員であることが条件となります。

【詳細】

⇒ <https://jprsi.go.jp/ja/news/395>

◎ ●お問い合わせについて

---

炭素市場エクスプレスでは、二国間クレジット制度（JCM）や国際的な市場メカニズムに関する情報を提供しております。JCM の制度や仕組み、プロジェクトの実施、クレジットの活用及び市場メカニズムの動向等について、メールにてお気軽にご相談ください。

⇒ [info@carbon-markets.go.jp](mailto:info@carbon-markets.go.jp)

メールマガジン登録内容変更もしくは配信停止ご希望の方は、下記ページより手続きください。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/>

メールマガジンのバックナンバー（PDF）は下記サイトで公開しています（最新号を配信後に、前号がアップされます）。

⇒ <https://www.carbon-markets.go.jp/newsletter/2021/>

◎ ●発行・編集

---

炭素市場エクスプレス事務局 / 一般社団法人海外環境協力センター（OECC）

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-3-1 幸ビルディング 3 階

---

※このメールの記載内容の無断転載、無断複製を禁じます。